



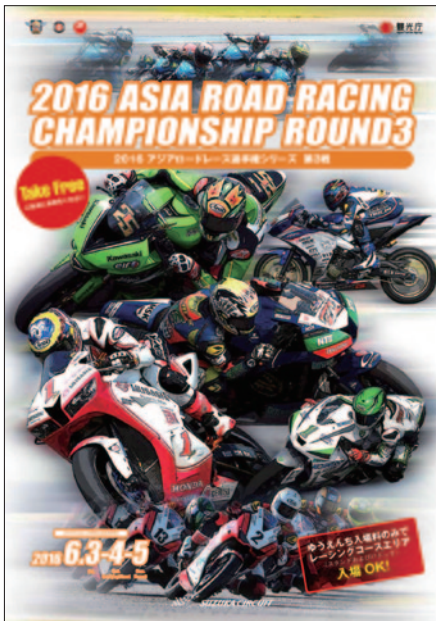
ASIA ROAD RACING CHAMPIONSHIP

www.asiaroadracing.com



MOBILITYLAND

<http://www.mobilityland.co.jp/>



公式プログラム

【イベント概要】

- イベント名称：2016 アジアロードレース選手権シリーズ第3戦
- 日程：2016年6月3日(金) フリー走行
4日(土) 公式予選・決勝レース
5日(日) 決勝レース
- 主催：株式会社モビリティランド
一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)
- 後援：スポーツ庁/観光庁/三重県/鈴鹿市/
鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会/
一般社団法人鈴鹿市観光協会/鈴鹿商工会議所
- 会場：鈴鹿サーキット国際レーシングコース(2輪用:5.821km)
- 天候・動員：6月4日(土) 曇り 24.6℃ 7,200人
5日(日) 曇り 20.5℃ 10,500人
※気象状況は各日とも津地方気象台15:00発表
[2015年度実績]
7月4日(土) 雨 23.2℃ 6,500人
5日(日) 曇り 22.3℃ 5,500人

【メディア概要】

- 取材者数：42媒体 56名

注目のアジアロードレース選手権、鈴鹿サーキットで4度目の開催!

1996年にスタートした「アジアロードレース選手権」。鈴鹿サーキットでは4度目の開催となりました。本選手権は4月のマレーシアでの開幕戦を皮切りに、タイ、今回の日本(鈴鹿)、インドネシア、インド、タイと各国を転戦、全6戦でタイトルが争われ、アジア、オセアニア各国の若いライダーたちが覇を競います。

開催カテゴリーは、メインレースとなる市販スポーツバイクベースの**SS600(SUPER SPORTS600cc)**をはじめ、アジア市場の人気を集める市販250ccスポーツバイクベースの**AP250 (ASIA PRODUCTION 250cc)**、Honda CBR250Rのワンメイクレース**ASIA DREAM CUP (ADC)**と国内シリーズ**CBR250R Dream Cup**による2時間耐久レース**ADER (ASIAN DREAM ENDURANCE RACE)**、そして全日本JSBトップライダー加賀山就臣選手がプロデュース・監修を手がける**SAC (SUZUKI ASIAN CHALLENGE)**という多彩なラインアップ。各レースとも世界を目指す選手達の激しいバトルが繰り広げられました。



SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

【SS600】

レース1

ポールポジションの高橋裕紀とデチャ・クライサーがスタートからトップ争いを展開するも、最終コーナーで転倒したマシンが炎上、4周終了時に赤旗中断。中断までをヒート1とし、再開後のヒート2との合算タイムで順位を決定することとなりました。5周という超スプリントレースとなったヒート2はデチャ・クライサーが制し、合算タイムでもトップに。2位に高橋、3位には小山知良が入りました。

	RIDER	TEAM	MAKE
優勝	デチャ・クライサー(タイ)	Yamaha Thailand Racing TEAM	YAMAHA
2位	高橋裕紀	MUSASHi Boon Siew Honda Racing	Honda
3位	小山知良	T. Pro Yuzy Honda NTS With WOW	Honda



※タイヤはダンロップのワンメイク
デチャ・クライサー(先頭)

レース2

スタートで先行したデチャ・クライサーを追う高橋裕紀が5周目にトップに浮上するものの、その後は2台が何度か順位を入れ替える激しい戦いとなりました。しかし12周目の日立オートモティブシステムズシケインでデチャ・クライサーが転倒、小山、伊藤勇樹の猛追を振り切った高橋が、地元鈴鹿で今季初優勝を果たしました。2位に入った小山はランキングトップに浮上しました。

	RIDER	TEAM	MAKE
優勝	高橋裕紀	MUSASHi Boon Siew Honda Racing	Honda
2位	小山知良	T. Pro Yuzy Honda NTS With WOW	Honda
3位	伊藤勇樹	Team Yamaha Racing	YAMAHA



※タイヤはダンロップのワンメイク
高橋裕紀

【AP250】



レース1 / レース2ウイナー
アピワット・ウォンタナノン(タイ)

【SAC】



レース1ウイナー
イージェイ・ソブレトード(フィリピン)



レース2ウイナー
ムハマド・サプリル(インドネシア)

【ADER】



ウイナー 前田誠司 / 岡田義治

※詳細なリザルトは右記をご参照ください。 <http://www.suzukacircuit.jp/>

SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL: 059-378-1111 FAX: 059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL: 0285-64-0001 FAX: 0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F, 1-15-9 MINAMI-AOYAMA, MINATO-KU, TOKYO 107-0062, JAPAN TEL: 03-5770-6430 FAX: 03-5770-6435

【プレスリリース】

開催概要 4月15日(金)

2016 FIMアジアロードレース選手権シリーズ 第3戦
6月3日(金)～5日(日)開催のご案内

ASIA ROAD RACING CHAMPIONSHIP

株式会社モトビルシステムは、国際ロードレース連盟(FIM)主催の「2016 FIMアジアロードレース選手権」を、日本・鈴鹿サーキットで開催いたします。本大会は、アジア各国の選手が一堂に会し、激しい競争を繰り広げる見ごたえのある大会です。また、本大会は、アジア各国の選手が一堂に会し、激しい競争を繰り広げる見ごたえのある大会です。

開催概要
大会名称 2016 FIMアジアロードレース選手権
正式名称 2016 FIM ASIA ROAD RACING CHAMPIONSHIP ROUND 3
開催日程 2016年6月3日(金)～5日(日) 3日間(全3日)

レース紹介・見どころ

昨年チャンピオンを獲得した多くの日本人ライダーも参戦するアジアロードレースの激戦が、鈴鹿サーキットで開催される。

世界へのステップアップを目指すアジアライダーの熱い戦いが、見どころとなる。

加賀山越用選手が企業賞獲得を目指すスズキ・アジアチャンピオンには、賞状授与の最優秀賞が贈られる。

【新聞パブリシティ】

読売新聞 三重・北勢版 5月21日(土)

中日新聞 三重版 6月 4日(土)

【WEB】

Lawrence 4月18日(月)

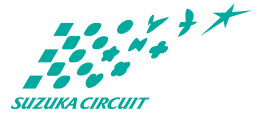
Webike 4月19日(火)

YOMIURI ONLINE 5月21日(土)

Lawrence 4月18日(月)

Webike 4月19日(火)

イベント&プロモーション アラカルト1



SAC(SUZUKI ASIAN CHALLENGE)のプロデューズと監修をつとめる加賀山就臣選手がポールシッターを激励。



今大会はゆうえんち入園料でパドック、さらにはピットビル2階ホスピタリティラウンジまでご入場いただき、白熱のレースを間近でお楽しみいただきました。



ピット(パドック側)に展示されたHonda CBR250RのADC (ASIA DREAM CUP)仕様車。



大会の様子はFOX TVによりアジア諸国へライブ放映されました。



AP250表彰式のプレゼンターをつとめたのは、2012年アジアロードレース選手権SS600チャンピオンの清成龍一選手。



2017年の第40回大会より世界耐久選手権シリーズの最終戦となる*コカ・コーラ ゼロ*鈴鹿8耐を紹介・アピールするPV(ユーロススポーツ制作)がサーキットビジョンや場内各所のモニターでオンエアされました。

PICK UP

国際レーシングコースの運営施設見学など、普段は入れないエリアでプレミアム体験ができる「バックヤードツアー」。今回はピット訪問のスペシャル版(5日)も実施しました。



本物の表彰台でウイナー気分。



TRICKSTAR Racingへピット訪問。

SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435



TRICKSTAR Racingのご協力により、カワサキのフラッグシップモデル「Ninja H2R」の展示とデモランが実施されました(ライダー: 鶴田竜二選手)。*デモランは4日のみ



アトラクション「レーシングシアター」で行われている8耐(左)、MotoGP™マシンのカウルレス展示「勝利へ導いたテクノロジー」。

ご協賛各社 ※五十音順・敬称略

【オフィシャルプログラムご協賛社】



A4 カラー24p 無料で配布いたしました。

住友ゴム工業株式会社

【ホスピタリティラウンジご利用社】



TWO WHEELS MOTOR RACING

【パドックサービスご出展各社】



SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

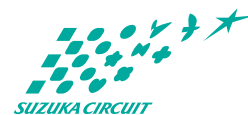
TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

鈴鹿サーキット・ツインリンクもてぎを支えていただいている
年間ご協賛パートナー各社様 ※五十音順・敬称略



※企業名での五十音順/敬称略 ※2016年4月1日現在

SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435